

特産品



プレミアムバナナプリン
ひろぼーのごちそう



朝陽に輝く水平線がとても綺麗な
みかんの丘のある町のバナナ
『綺麗』



福島県広野町産
特別栽培 コシヒカリ



みかん
ジャム



みかん
果汁100%ジュース

童謡のまち

広野町は童謡「とんぼのめがね」が生まれ、唱歌「汽車」の舞台であると言われています。平成6年度より「豊かな心を育む交流と文化のまちづくり」事業の一環として、「ひろの童謡まつり」を開催し、童謡の継承と新たな童謡の発信を行ってきました。現在までに、広野から発信された「新しい童謡」は28曲を数えます。これらは広野町の多くの人々に親しまれ、特に「はなのうみ」「まつぼっくり」「ザリガニくん」などは童謡名曲として全国で愛唱されています。

とんぼのめがね作詩者
『額賀誠志』
「とんぼのめがね」は、広野町に住む医師で、高名な童謡作家であった「額賀誠志」氏が、昭和23年頃に上浅見川の帯平地区に往診へ行った際に、子どもがとんぼとたわむれている情景を詩にうたったものです。



帯平の風景



童謡「とんぼのめがね」歌碑



唱歌「汽車」歌碑(JR広野駅)



唱歌「汽車」トンネル

とんぼのめがね
作詞 額賀 誠志
作曲 平井康三郎

とんぼのめがねは
水いろ めがね
青いおそらを
とんだから とんだから

とんぼのめがねは
ぴかぴかめがね
おてんとさまを
みてたから みてたから

とんぼのめがねは
赤いろ めがね
夕焼け雲を
とんだから とんだから

汽車
作曲 文部科学省唱歌
大和田愛羅

今は山中 今は浜
今は鉄橋 渡るぞと
思うまもなく トネルの
やみを通って 広野原

遠くに見える 村のやね
近くに見える 町ののき
森や林や 田や畑
あとへあとへと 飛んで行く

まわりどうろうの 絵のように
かわる景色の おもしろさ
見とれてそれと 知らぬ間に
早くもすぎる いく十里